

かわじまウオッチング

第 5 号
平成28年2月8日



かわみん



かわべえ

かわじま地域探訪倶楽部

新井孝政 急式米子
鈴木宗一 花木登茂子
福本角雄 山田芳

川島町への来町者

川島町の多くの人が気づいていない人達がわが町、川島に訪れています。今回は、その様な人たちを紹介します。

ウィークフィールド競技

皆さんは、ウィークフィールドをご存知ですか？ おそらく、ほとんどの人が知らないと思います。子供のころ遊んだゴム動力の模型飛行機が進化したものです。この競技には、国際大会があります。屋外のゴム動力競技は、F1Bクラスのウィークフィールドとのことです。



その人たちが小見野地区の耕地に練習のため通って来ています。多いときは6人、横浜、相模原、練馬、多摩、所沢ナンバーの車で来ています。田圃が休耕時の冬から春にかけて活動しています。夏場は朝、6時ごろから練習を始めています。早朝のウォーキングで見かけたことがあるかも知れません。



この様な、ミニバイクで着陸した模型飛行機

を取りに行く人もいます。

模型本体の重量は200グラム以上、動力のゴムの重量は30グラム以下と規定されています。飛行時間が規定時間内に収まるようにリモコンで主軸の尾翼付近が折れて墜落する仕組みもあります。



取り付け部品としてプロペラ、動力のゴムがあります。道具として、ゴムを捻じる工具、捻じったゴムを本体にセットするガイドケース、リモコンがあります。興味のある方は、是非、見学に来てください。午前中に帰ってしまうことが多いので早めに来てください。又、強風、雨天の時は来ていません。

用水路での釣り人



田圃の用水路での釣りをよく見かけます。話を聞いて見ると町外の人で、大宮、所沢、川越ナンバーの車で来ています。週3回来ていると言っていました。

新井 孝政 記

* 人にやさしい 新庁舎完成 *

建設前の旧庁舎は昭和 31 年 4 月竣工 11 月 20 日に完成しました。昭和 30 年 11 月 15 日の「川島だより(広報)」によりますと、役場庁舎敷地は大字平沼字中 1175 番地先に決定「稲刈りがすめば直ちに地形移ります。」とあり、そして庁舎は建築委員会で構想、この時は「時代の流れで鉄筋コンクリート 2 階建て」と言う先端の技術と材料で施工されました。しかしながら、現在では建物が耐震性能不足であり、バリアフリーや情報化への対応不足、その上 60 年以上経過している庁舎ですので老朽化等問題が重なり、これらの問題を解消するために新庁舎建設に至った経緯です。

新庁舎全景写



○新庁舎の場所・・・

場所は、町の防災拠点としての機能を確保するとともに、周辺には昭和 56 年完成の町民体育館、昭和 61 年図書館、昭和 62 年町民会館、武道館等が完成し、また平成 8 年にオープンした平成の森公園など周辺には公共施設があり、町民の方々が使いやすい庁舎ということで、最適な場所であると決定しています。

新庁舎の場所：川島町大字下八ッ林 870 番地 1

○新庁舎のあゆみ・・・

建設にあたっては、町は早くから資金を心がけて、まず平成元年から建設基金の積み立てを始め、平成 25 年 9 月の広報紙によりますと 12 億 6500 万円になりました。また若手職員によるワークショップを行ったり、他の自治体庁舎を視察するなどして十分検討研究をしていたとのこと。平成 25 年 7 月の広報紙によると、各所で実績のある環境技術の採用が評価された優秀設計者が決定し、新庁舎について緊密な意見交換を行いながら進められ、庁舎本体の工事費は 17 億 7,876 万円、4,643 平方メートルとし、平成 26 年 6 月には建設に係る本体工事部分について制限付一般競争入札として入札を行い 6 月 30 日の臨時議会で議決、平成 26 年 6 月に工事請負契約を締結しました。落札者は(株)島村工業で 7 月 20 日には起工式が行われ、工期は平成 26 年 6 月 30 日～27 年 8 月 31 日で新庁舎は完成し、外構整備・南側駐車場等整備工事も完成間近となりました。(H27.12.11 撮影)
竣工式は平成 27 年 12 月 19 日(土)10:00～です。

新庁舎の北側写真



旧庁舎写真



急式 米子 記

秋から冬の始まり

春に沢山の花を咲かせた木々が、夏には、むせかえるほどの葉を繁らせ、私たちに木陰を提供してくれました。

今、秋も深まって。木々は、赤や黄オレンジと華やかに彩り、観る者の目を楽しませてくれ、その後、北風とともに舞い落ちる木の葉は、やがて訪れる冬の支度へといざなってくれます。



桜が終わって、庭先や公園で、咲き始めるのがハナミズキ。秋には、紅い実がついてきれいです。



赤や



黄色の



春に鮮やかなピンクの小花を枝いっぱいにつけたサンザシも今は、赤い実をつけています。



梅雨の頃に、白い可愛い花が咲き、今年も⁻³⁻た沢山の柿が実りました。



今年の秋は、雨の日が続きました。気温も高めで推移したせいでしょうか、薄紅色のりんごの花や、佐藤錦の花が小枝に二つ三つと咲きました。

木枯らし一番が、吹く頃には、木々はすっかり葉を落とし来春に向けて、栄養を蓄えこの冬をのりきって行くのでしょうか。

花木 登茂子 記

川島町を囲む四つの流れ

川島町は、西を越辺川、南を入間川、東を荒川、北を市ノ川が流れ、四方を川に囲まれている。その源流を手繰ってみようと思います。

越辺川



落合橋より下流を望む

越生町の黒山地内より小さな流れとなって毛呂山町、坂戸市、川島町に至り長楽地先で都幾川と合流、落合橋下流で小畔川と合流し釘無橋下流にて入間川と合流する全長 35 kmである。

市野川



鳥羽井地先の名もなき橋より上流を望む

寄居町の男衾に源を発し、東大塚地先で荒川に合流する。右曲左折しながらU字の馬蹄形を描き澱みを作って流れていた。そのため「九十九曲がり」と呼ばれ、氾濫を起こし農地に大被害をもたらす川だった。現在は改修されていて全長 38 kmの一級河川である。

入間川



落合橋より上流を望む

秩父山地の大持山南東斜面を源とし、名栗村、飯能河原、青梅市の山や丘陵から流れ出す水を集め、平地を流れて、埼玉県南部を東から北東へ流れ、伊草、釘無、出丸中郷を通り、上江橋の先で荒川に合流する。荒川最大の支流で67kmある。江戸時代から明治時代にかけて、入間川上流の山々から切り出された木材は西川材として筏に組まれて入間川を下り江戸に運ばれていた。

荒川



市野川との合流地点より

埼玉・山梨・長野県の境にそびえる甲武信ヶ岳の東にある原生林の「真の沢」という小さな流れから始まり、山の斜面を削りながら流れ、深い溪谷を作り、いくつもの川が合流しながら秩父盆地、長瀨溪谷を経て川島町の東に至り東京湾に注ぐ。支流は120本もあり、河口から荒川が始まる起点まで173kmの一級河川である。

山田 芳子 記

秋 ウォーキングの出会い

2015年は健康づくり元年、町では健康長寿のまちづくり推進条例を制定、個人の健康づくりに取り組んでいます。私もかわべえ健康大学、ハッピー体操に参加しています。平成の森公園でウォーキングに合わせ、写真を撮りました。



出丸の水田、稲収穫後、ムクドリ（鳩位の大きさ）の集団、脅威を感じました。



ハスの池、若芽が育んでいます。



平成の森公園 芝が植え替えられました。



バラの小径にて

ウォーキングについて

ウォーキングを続けていたとき、7月の始めに膝の痛みを感じ、1ヶ月程安静に、その後、足に力が入らず、元気を付ける為、ハッピー体操に参加、学んだ筋トレを自宅で、スクワットや、片足立ち、つま先上げ、踵上げ等、実行、足の血流がよくなり、車の安全運転にも良いと思ひ頑張りました。そして11月に入り、かわべえ健康大学で、平成の森公園にて、1グループ30人位のメンバーがウォーキングの体験を受けました。ウォーキングは1週1kmコースを10分で回り、2周する事を目標にスタートしました。私にとって久しぶりの早歩きです。マイペースで、挑戦した結果なんとか、タイムをクリアできました、参加メンバーが多く、元気が出た事だと思います。膝の痛みが出るか、一寸心配でしたが大丈夫でした。やはりハッピー体操の筋トレ効果だと思いました。一週間後、再度1キロコースに挑戦、3キロメートルを30分とクリアでき、早歩きに自信がつけました。今後も定期的にチェックし体力を維持します。

福本 角雄 記

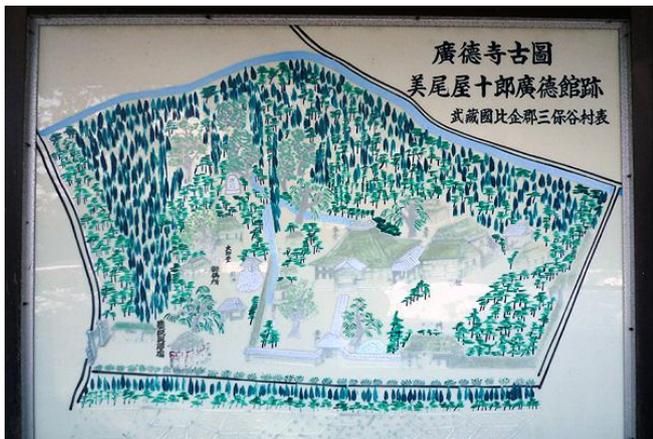
廣徳寺大御堂をご存知ですか



廣徳寺の山門



六地藏と大御堂



廣徳寺案内板



廣徳寺本殿



仁王門

川島町には国指定の重要文化財の廣徳寺大御堂があります。大御堂とは、浄土真宗の盛んな平安末期から鎌倉期にかけての阿弥陀堂のことです。

北条政子が美尾谷十郎廣徳（みおのやじゅうろうひろのり）の冥徳を弔うために、美尾谷氏の館跡に建立したものと伝えられています。

家康が、放鷹の際に立ち寄ったとも伝えられています

寄せ棟造り、茅葺きの唐様建築物です。

真言宗豊山派の寺院、山号は、大御山（おおみさん）、院名は西徳院、本尊は五大明王です。

住所は、表 76、近くには新堀バス停、廣徳寺バス停があります。

鈴木 宗一 記



川島町マスコットキャラクター かわべえ & かわみん

ごあいさつ

わたくしたちは、川島町地域包括支援センター主催による認知症予防の“若返り脳講座”の受講者です。“かわじまウォッチング”は若返り脳講座の活動内容の一つであるミニコミ誌の名称です。私たちの住んでいる地域をもう一度見直し、川島町の魅力を探求したいと活動しています。

あらためて、皆様には、川島町についての関心を深めて戴くきっかけになれば幸いです。

かわじま地域探訪倶楽部一同